

【開催のお知らせ】27年ぶりの京都での大回顧展！ 重要文化財をはじめ、代表作など200点以上

# 没後100年 富岡鉄斎

会期／2024年4月2日（火）～5月26日（日）

会場／京都国立近代美術館

2024年4月2日（火）～5月26日（日）の期間、京都国立近代美術館にて「没後100年 富岡鉄斎」を開催いたします。

世に「最後の文人画家」と称えられる富岡鉄斎（1836-1924）。幕末、京都の商家に生まれた彼は、近世都市の商人道徳を説いた石門心学を中心に、儒学・陽明学、国学・神道、仏教等の諸学を広く学びながら同時に、南宗画、やまと絵等をはじめ多様な流派の絵画も独学し、深い学識に裏付けられた豊かな画業を展開しました。良い絵を描くためには「万卷の書を読み、万里の路を行く」ことが必要であるという先人の教えを徹底して守ろうとした彼は、何を描くにもまずは対象の研究に努め、北海道から鹿児島まで全国を旅して各地の勝景を探りました。そうして胸中に思い描かれた理想の山水を表出し、人間の理想を説いた鉄斎の絵画は、画壇の巨匠たちから敬われ、京・大阪の町の人々に広く親しまれただけでなく、むしろ新世代の青年画家たちからもその表現の自由闊達で大胆な新しさで注目され、生前から今日まで国内外で高く評価されてきました。

幕末に人格を形成して明治初期には神官として古跡の調査と復興に尽力し、やがて官を辞して市井の画家として生き、1924（大正13）年の大晦日に数え年89で亡くなった鉄斎は、2024（令和6）年末で没後100年を迎えることになります。このたびの展覧会では、この記念のときに向け、彼の画業と生涯をあらためて回顧します。名作として繰り返し取り上げられてきた作品はもちろんのこと、名作として知られながらも名作展では目にする機会の乏しかった作品や、近年になって再発見され、あるいは新たに見出された作品などもご覧いただけます。また、京都御所の近所の、室町通一条下ルに邸宅を構えていた彼の書斎（画室）を彩っていた文房具や筆録（旅行記や研究用メモ）等も取り上げ、都市に生きた彼の日常も、垣間見ていただこうと考えています。

文人画というと、何か難しい世界のように思われがちですが、鉄斎の生きた時代にはむしろ縁起物として都市の商人たちの間で親しまれていたともいわれます。京都では27年振りの開催となる展覧会が、鉄斎に親しんでいただく機会ともなれば幸いです。



【19】

## 展覧会の見どころ

### 1 代表作を多数展示。

六曲屏風一雙の大作《富士山図》、《妙義山図・瀨八丁図》、《富士遠望図・寒霞溪図》、《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隠栖図》（重要文化財）や、掛軸の《三津浜漁市図》、《菟道製茶図・粟田陶窯図》双福、《嫦娥奔月図》、《碧桃寿鳥図》、《瀛洲仙境図・西王母図・福祿寿図》三幅対など、鉄斎の画業を語るうえで欠かすことのできない作品を多数展示。

### 2 これまであまり取り上げられてこなかった作品も紹介。

一般に公開されたことのない《土神建土安神社図・椎根津彦像・平盆図》三幅対や、画集のモノクロ写真で知られるのみだった初期の屏風《山水図》、50年振りの公開となる《渉歴余韻冊》など、従来の鉄斎展では見ることのできなかつた作品も紹介。

### 3 鉄斎の日常空間を彩った貴重な品々も紹介。

絵画制作と読書に日々励んでいた鉄斎の画室に置かれていた硯や墨、筆、絵具、絵具皿、机など、遺愛の品々も多数展示します。松花堂昭乗の墨や、池大雅の筆、青木木米が制作した硯など貴重なものも多く、襖に用いられていたのは岡田（冷泉）為恭の絵。旧蔵の書籍の中には、池大雅の旧蔵本や小田海僊の旧蔵書画も含まれます。また、鉄斎といえば印章に特別な愛着を持っていたことで知られますが、その「印癖」のほどを伝える膨大な印章コレクションの中から、彼の印譜《鉄老斎印景》に載るものを中心に120顆を公開。

### 4 書の名作にも注目。

鉄斎は生前、書家としても親しまれていました。今回の展覧会では、二曲屏風一雙の大作《雪・月・花・茶詩書》のほか、親しくしていた画家の今尾景年のため揮毫した《養素齋書》、陶芸家の四代清水六兵衛に捧げた《四代清水六兵衛宛弔辞》など、書の名作も紹介。

### 5 京都会場のみ公開の作品も多数。

本展は、京都国立近代美術館のあと富山県水墨美術館、碧南市藤井達吉現代美術館へ巡回しますが、鉄斎作品の所蔵者が京都周辺に集中していることもあり、京都会場でしか公開されない作品も多数。《妙義山図・瀨八丁図》、《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隠栖図》（重要文化財）、《雪・月・花・茶詩書》、《壘樓海市図》などは京都会場のみでの展示となります。

## 重要文化財《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隱栖図》

第一期に富岡鉄斎 重要文化財《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隱栖図》を出品いたします。

【18】



富岡鉄斎 重要文化財《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隱栖図》1914年 79歳 公益財団法人 辰馬考古資料館

### 展覧会構成

#### 1 序章 鉄斎の芸業 画と書

鉄斎の画業を初期から晩期の手前まで一気にたどります。絵画だけではなく、書の名作も紹介。初期作品の繊細な美しさと、50歳代の作品の力強さ、60歳代の作品の円熟をご覧ください。

#### 2 第一章 鉄斎の日常 多癖と交友

鉄斎の日常空間を彩った文房具や絵画制作の道具、印章、煎茶道具一式、旧蔵の図書や書画、研究成果としての「筆録」などを取り上げ、「文人多癖」と呼ばれる彼の関心の広さを通じて彼の交友関係をも窺います。

#### 3 第二章 鉄斎の旅 探勝と探究

万巻の書を読み、万里の路を行くことを標榜した鉄斎は、京都を中心に、鹿児島から北海道まで全国各地を旅しました。彼の旅をめぐるさまざまな側面を、作品と資料により紹介。

#### 4 終章 鉄斎の到達点 老熟と清新

数え年89歳まで生きた鉄斎の画業は60歳代までに一つの円熟期を迎えたのち、70歳代から80歳代にかけてさらに自由奔放に展開しました。晩期の鉄斎作品の充実と新鮮な魅力を最後にご覧いただけます。

### 関連イベント

#### 講演会「富岡鉄斎の旅と日常」

日時：4月13日（土）14時～15時30分

講師：梶岡秀一（当館主任研究員・本展担当者）

会場：京都国立近代美術館1F講堂

定員：先着80名（当日11時より1階受付にて整理券を配布します。整理券はひとり1枚のみお渡します）

参加費：無料

### 開催概要

【展覧会名】没後100年 富岡鉄斎

【開催期間】2024年4月2日（火）～5月26日（日）＊会期中に一部展示替えがあります

第一期 4月2日～4月14日／第二期 4月16日～4月29日

第三期 5月1日～5月12日／第四期 5月14日～5月26日

【開館時間】午前10時～午後6時 金曜日は午後8時まで開館 ＊入館は閉館の30分前まで

【休館日】月曜日（ただし4月29日（月・祝）、5月6日（月・祝）は開館）、4月30日（火）、5月7日（火）

【観覧料】一般1,200円（1,000円）、大学生500円（400円）

※（ ）内は前売と20名以上の団体及び夜間割引（金曜午後6時以降）

※高校生以下・18歳未満は無料＊。

※心身に障がいのある方と付添者1名は無料＊。

※母子・父子家庭の世帯員の方は無料＊。

\*入館の際に証明できるものをご提示ください。

※本料金でコレクション展もご覧いただけます。

※前売券は3月1日（金）～4月1日（月）までの限定販売。

【会場】京都国立近代美術館〔岡崎公園内〕（〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町）

【主催】京都国立近代美術館、清荒神清澄寺 鉄斎美術館、毎日新聞社、京都新聞

【協賛】ライブアートブックス

【お問合せ】075-761-4111

【美術館公式HP】<https://www.momak.go.jp/>

※詳細は公式HP等で随時お知らせさせていただきます

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。下記、申込フォームよりお申してください。

**【広報画像申込フォーム】**





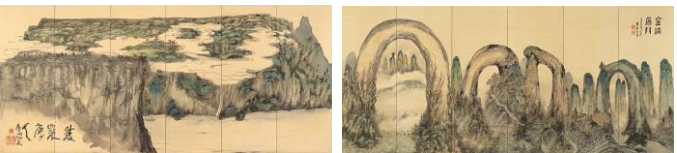












<https://forms.gle/YBuhmfGEDQ4SQFt57>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、本展事務局までご送付ください。



**■ オススメ作品は★印の【1】～【7】です。**

展示替え予定：第1期（4/2～4/14）、第2期（4/16～4/29）、第3期（5/1～5/12）、第4期（5/14～5/26）

<p>★【1】 第3～4期</p> 	<p>★【2】 第1～2期</p> 	<p>★【3】 第1～2期</p> 	
<p>★【4】 第4期</p> 		<p>★【5】 第3～4期</p> 	
<p>★【6】 第1～2期</p> 	<p>★【7】 第3～4期</p> 	<p>【8】 第1～2期</p> 	<p>【9】 第1～2期</p> 
<p>【10】 第1～2期</p> 	<p>【11】 第3～4期</p> 	<p>【12】 第3～4期</p> 	<p>【13】 第1～2期</p> 
<p>【14】 第4期</p> 	<p>【15】 第3～4期</p> 	<p>【16】 第2～3期</p> 	<p>【17】 第1～2期</p> 

**【報道に関するお問い合わせ】**

「没後100年 富岡鉄斎」広報事務局（ネネラコ内） 担当／久世・和田

E-MAIL / [tessai@nenelaco.com](mailto:tessai@nenelaco.com) TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

# 「没後100年 富岡鉄斎」広報画像・プレゼント用招待券 申込書

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期・会場名のほか、画像掲載の際は作品名、所蔵先、コピーライトを必ずご掲載ください。
- 画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・変更はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、掲載URL、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。

ご希望の画像に☑をお願いいたします。 ■ オススメ作品は★印の【1】～【7】です。

番号	作品クレジット一覧
★ 1☐	富岡鉄斎《三津浜漁市図》1875年 40歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
★ 2☐	富岡鉄斎《通天紅葉図》1882年 47歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
★ 3☐	富岡鉄斎《富士山図》1898年 63歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
★ 4☐	富岡鉄斎《富士遠望図・寒霞溪図》1905年 70歳 京都国立近代美術館
★ 5☐	富岡鉄斎《妙義山図・瀬八丁図》1906年 71歳 布施美術館
★ 6☐	富岡鉄斎《鮮魚図》1910年 75歳 愛媛県美術館
★ 7☐	富岡鉄斎《嫦娥奔月図》1923年 88歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
8☐	富岡鉄斎《嵐山秋楓図》1886年 51歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
9☐	富岡鉄斎《高士肥遯図》1889年 54歳 碧南市藤井達吉現代美術館
10☐	富岡鉄斎《勾白字詩七絶》60歳代 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
11☐	富岡鉄斎《菟道製茶図・粟田陶窯図》1869年 34歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
12☐	富岡鉄斎《蝦夷人熊祭図》70歳代 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
13☐	富岡鉄斎《空翠湿衣図》40歳代 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
14☐	富岡鉄斎《煙波漁隠図》1913年 78歳 京都国立近代美術館
15☐	富岡鉄斎《燕間四適図》50歳代 京都国立近代美術館
16☐	富岡鉄斎《瀛洲仙境図》（三幅対の内） 1923年 88歳 碧南市藤井達吉現代美術館
17☐	富岡鉄斎《福内鬼外図》1924年 89歳 清荒神清澄寺 鉄斎美術館
18☐	富岡鉄斎 重要文化財《阿倍仲麻呂明州望月図・円通大師呉門隱栖図》1914年 79歳 公益財団法人 辰馬考古資料館
19☐	チラシビジュアル ※クレジットなし

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 ☐WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／☐希望（最大5組10名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 ※チケットの発送は準備がてき次第発送いたします お送り先／〒	

### 【報道に関するお問い合わせ】

「没後100年 富岡鉄斎」広報事務局（ネネラコ内） 担当／久世・和田  
 E-MAIL / [tessai@nenelaco.com](mailto:tessai@nenelaco.com) TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587  
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル